

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成 2 年退官 1958 年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

籠ノ登山 - 花の名山 -



籠ノ登山(池ノ平から)

6 月中旬、籠ノ登山(カゴノヤマ) (2227 m)に出かけた。上信国境にあるこの山は、高山植物の宝庫として名高い。

前日、長野新幹線佐久平駅から直路のバスの乗り入れで着いた高峰温泉に泊った。



ランプの露天風呂

高峰温泉は標高 2000 m の高みにある雲上の秘湯。ランプ

の灯がほのかに揺れる檜風呂の旅情がたまらない。お金も高いが、何ともぜいたくな山旅である。

翌朝 9 時、高峰温泉発。カラマツ林の中ののどかな登り。路端を彩るイワカガミのピンク色が愛らしい。

うぐいす展望台からは、岩ゴロゴロの尾根登りとなる。ツガザクラがあちこちで目を楽しませてくれる。10 時、水ノ塔山(ミズノトヤマ)(2200m)。眼下に広がるスキー場の緑がまばゆかった。

ここから籠ノ登山へは、岩を乗り越し

水ノ塔山から望む籠ノ登山



乗り越し、小さな登り下りを繰り返すアルペンのムードの稜線歩きとなる。足元にはツガザクラ、ウメバチソウなどが目



東籠ノ登山山頂

を和ませる。10 時 45 分、籠ノ登山山頂(東籠ノ登山)。岩ゴロゴロ

の山頂からの展望は雄大である。浅間山、八ヶ岳、北アルプスさえも遠望出来た。目の下には池ノ平の湿原が広々と広がって見えた。

しばらくの展望タイムの後、池ノ平に向かう。針葉樹林の中の心地良い下り。足元にはショウジョウバカマが出迎えてくれた。

池ノ平入口の駐車場を過ぎ、池ノ平の湿原を木道に沿って散策しつつ三方ヶ峰に向かう。この湿原は高山植物の宝庫との評判だが、季節が早いせいも、残念ながら花には巡り会えずじまいの散策だった。



鏡池と池ノ平湿原

池ノ平からひと登りして、12 時、三方ヶ峰。この山頂南面のガレ場がコマクサのお花畑とのことだが、そのコマクサの保護のためにガッチリと金網柵が張り巡らせてある。まるで収容所である。しかもその金網柵越しに見るコマクサたるや、まるで枯死寸前といった風情が痛ましかった。

下山は、三方見晴歩道と呼ばれる尾根道を地蔵峠に下った。途中での昼食休憩を含め景色を眺めながらのんびりした散歩。地蔵峠バス停着 14 時。午後 1 本だけの佐久平行きバスを待つ間、つい缶ビールの本数が重なった。